

## [果樹部門]

### 6. ブドウすす点病に対するカンタスドライフロアブルの効果

#### [要約]

アニライド系の新規殺菌剤であるカンタスドライフロアブルはブドウすす点病に対して効果が高く、散布による果粒の汚れや果粉溶脱は少ない。

[担当] 病虫研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 技術

---

#### [背景・ねらい]

ブドウすす点病に対する登録農薬はこれまで硫黄粉剤 50 しかなく、多発園では防除に苦慮していることから、効果の高い殺菌剤を選抜し、その実用性を明らかにする。

#### [成果の内容・特徴]

1. すず点病が甚発生する無加温栽培の「マスカット・オブ・アレキサンドリア」において、カンタスドライフロアブルの 1,000 倍液または 1,500 倍を幼果期～硬核期に 2～3 回散布すると、対照薬剤の硫黄粉剤 50 に比較してほぼ同等かやや優れる高い防除効果が認められる（図 1、図 2）。
2. カンタスドライフロアブルの散布による収穫時の果粒表面の汚れは 1,000 倍液でわずかに認められるが実用上問題なく、1,500 倍液ではほとんど認められない。また、果粉溶脱はいずれの濃度でもほとんど認められない。
3. 本剤の散布による「マスカット・オブ・アレキサンドリア」での薬害は認められない。
4. 本剤は 2008 年 10 月に 1,000～1,500 倍で大粒種ブドウのすす点病に適用拡大されている。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 無加温栽培におけるすす点病防除の散布適期は、果粒の大豆大期～硬核期である。
2. 本剤は大粒種ブドウのすす点病の他、灰色かび病にも登録があり防除効果が高い。
3. 本剤は「ピオーネ、ネオ・マスカット」においてもすす点病に有効で、両品種とも薬害は認められない。

[具体的データ]

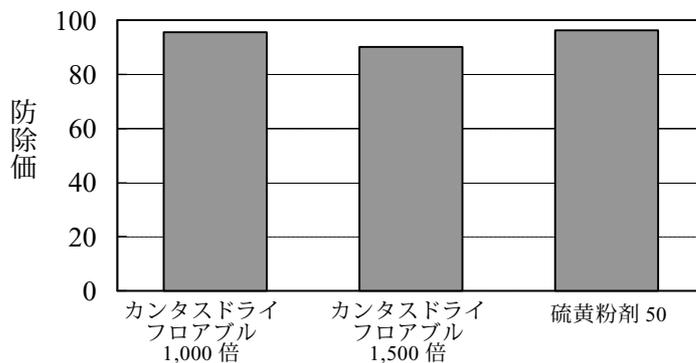


図1 ブドウすす点病に対するカンタスドライフロアブルの効果 (2007年)

薬剤散布日：6月28日、7月18日  
 散布量：カンタスドライフロアブル 150L/10a、硫黄粉剤 50 3kg/10a  
 区制・面積：3区制、1区 5m<sup>2</sup>(2.5m×2m)  
 調査日：10月9日  
 無散布区のすす点病発生程度：甚発生 (発病果房率 100%)

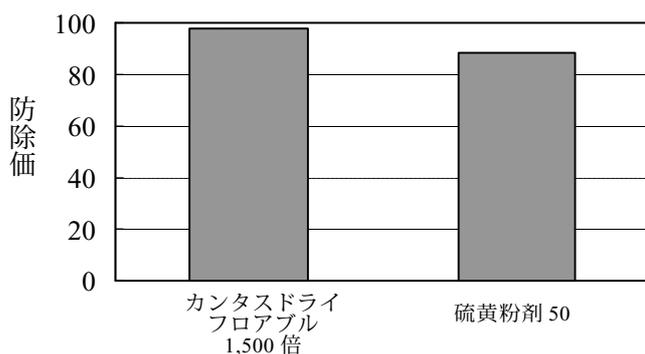


図2 ブドウすす点病に対するカンタスドライフロアブルの効果 (2008年)

薬剤散布日：6月23日、7月1日、7月16日  
 散布量：カンタスドライフロアブル 150L/10a、硫黄粉剤 50 3kg/10a  
 区制・面積：3区制、1区 5m<sup>2</sup>(2.5m×2m)  
 調査日：10月8日  
 無散布区のすす点病発生程度：甚発生 (発病果房率 100%)

[その他]

研究課題名：果樹主要病害虫の効率的防除薬剤の実用化試験  
 予算区分：受託 (効率的防除薬剤の実用化試験)  
 研究期間：2007～2008年度  
 研究担当者：井上幸次、末永寛子